

第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 の振り返りについて

1

○趣旨

横浜市では第7期計画（平成30年度～令和2年度）において、横浜型地域包括ケアの充実に向けて、次の6つの施策に取り組んできました。各施策を評価するために設定した指標の達成状況や成果、課題について、以下のとおりご報告します。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での研修や会議等の開催回数を指標または事業量としていた項目については、令和元年度末から実績が減少している場合があります。



2

1 第7期計画における取組の成果と今後の課題

I 地域共生社会の実現に向けた地域づくりを目指して

【主な成果】

- 介護予防を目的とした自主グループ「元気づくりステーション」の新規立ち上げ、活動の継続支援を行いました。緊急事態宣言中は活動を休止しましたが、感染予防対策を徹底し、9月末には約8割が活動を再開しました。

指標	計画策定時	実績値			目標値 (令和2年度)
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
「あと1,000歩、歩く」ようになったと回答した割合	41% (平成29年度)	34%	35%	43%	44%
地域の介護予防活動グループへの参加者数	25,458人 (平成28年度)	36,739人	41,392人	40,533人	30,000人
(内数) 元気づくりステーション参加者数	6,750人 (平成28年度)	8,044人	8,383人	6,078人	8,000人
(内数) 元気づくりステーション 要介護認定者等参加者数 (事業対象者、要支援認定者含む)	510人 (平成28年度)	564人	553人	282人	800人
地域活動やボランティア活動への高齢者の参加増					
ボランティア参加者の割合	15.5% (平成28年度)	—	15.6%	—	18.0%
スポーツの会参加者の割合	30.1% (平成28年度)	—	32.9%	—	33.0%
趣味の会参加者の割合	39.3% (平成28年度)	—	38.6%	—	42.0%

3

1 第7期計画における取組の成果と今後の課題

I 地域共生社会の実現に向けた地域づくりを目指して

【主な課題】

- 引き続き、元気づくりステーションのグループ活動を広げるとともに、活動継続に向けたモチベーション向上を図る必要があります。
- 地域活動の担い手の高齢化が進み、活動を継続・発展させるための支援の充実が必要です。また、40～64歳の世代に対する健康づくりや地域活動等の社会参加に向け、各事業が連動した情報提供や動機付けが必要です。
- 介護予防の普及啓発については、横浜ならではの地域資源を生かしたフレイル予防の取組について検討するとともに、地域に応じて、フレイル予防、ロコモ予防、口腔機能の向上、栄養改善、認知症予防、閉じこもり予防等の効果的な普及啓発を地域ケアプラザ等と連携して行うことが求められています。

4

1 第7期計画における取組の成果と今後の課題

II 地域生活を支えるサービスの充実と連携強化を目指して

【主な成果】

- ・エンディングノート、もしも手帳、看取り期の在宅療養サポートマップ等の作成や講演会等を通じて自分らしい暮らしを考えるきっかけを作る等、高齢者の意思決定支援を実施しました。18区の在宅医療連携拠点による、在宅医療と介護の相談支援の充実のほか、入退院サポートマップや脳血管疾患ケアサポートガイドの作成、人材育成研修等を通じて医療と介護の連携を促進することで、在宅看取り率の向上に繋がりました。

指標	計画策定時	実績値			目標値 (令和2年度)
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
横浜市在宅看取り率	18.9% (平成27年度)	22.2% (29年)	23.9% (30年)	25.4% (元年)	26.4%
地域ケア会議開催回数	587回 (平成28年度)	567回	418回	238回	659回

1 第7期計画における取組の成果と今後の課題

II 地域生活を支えるサービスの充実と連携強化を目指して

【主な課題】

- ・医療・介護が必要な場面に応じて適切なサービスを提供するために、在宅医療連携拠点を軸とした医療・介護連携の強化と、人材の確保・育成等の在宅医療提供体制の構築を推進するとともに、在宅医療の市民理解促進のため普及・啓発を進める必要があります。
- ・また、地域の課題解決に向けた連携の場としての地域ケア会議の活用を更に進めていく必要があります。

1 第7期計画における取組の成果と今後の課題

Ⅲ 認知症にやさしい地域を目指して

【主な成果】

- ・ 認知症サポーター養成講座の受講者数が増えるなど、理解者・支援者となる方が増えました。

認知症初期集中支援チームを18区に設置し、相談体制を充実させるとともに、もの忘れ検診のモデル実施や見守りシールの導入など、認知症の予防と共生に向けた取組を進めてきました。

指標	計画策定時	実績値			目標値 (令和2年度)
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
認知症サポーター養成講座 受講者数（累計）	222,300人 (平成28年度)	300,503人	333,247人	343,154人	339,300人
認知症対応力向上研修 受講者数（累計）	1,669人 (平成28年度)	2,471人	2,918人	3,090人	3,500人

7

1 第7期計画における取組の成果と今後の課題

Ⅲ 認知症にやさしい地域を目指して

【主な課題】

- ・ 認知症サポーターの活動につながるための研修や取組が必要です。
- ・ また、若い世代や企業等への認知症理解の向上や基本的知識の習得に向けた啓発活動が必要です。さらに、認知症初期集中支援チームの対応力の向上や医療・介護の専門職における認知症に対する理解促進と権利擁護の推進が必要です。

8

1 第7期計画における取組の成果と今後の課題

IV ニーズや状況に応じた施設・住まいを目指して

【主な成果】

- ・ 特別養護老人ホームや特定施設など計画どおりに整備を完了したことで、高齢期の住まい方について多くの選択肢を増やすことができました。

指標	計画策定時	実績値			目標値 (令和2年度)
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
特別養護老人ホームに 要介護3以上で入所した方の平 均待ち月数	12か月 (平成28年度)	11か月	11か月	10か月	12か月
高齢者人口に対する 高齢者向け住宅の割合	3.2% (平成28年度)	3.5%	3.5%	3.6%	4.0% (令和8年度目標)

1 第7期計画における取組の成果と今後の課題

IV ニーズや状況に応じた施設・住まいを目指して

【主な課題】

- ・ 市民の住まいや介護施設に対するニーズの増加・多様化への対応、高齢者施設・住まいの相談センターの認知度向上と利用促進、施設サービスの質の向上が必要です。

1 第7期計画における取組の成果と今後の課題

V 安心の介護を提供するために

【主な成果】

- ・資格取得、就労支援、住宅確保などの一体的な支援体制を整備しました。また、ベトナム、中国などの学校と介護分野における連携協定を締結し、外国人材の活用に向けた受入れ促進を図りました。

【主な課題】

- ・国が公表している第8期介護保険事業計画における介護職員の必要数を基に、横浜市の介護職員の不足数を予測すると、2025年には、約6,500人の介護職員の不足が見込まれます。
- ・コロナ禍により海外からの介護人材の受入れが停滞していますが、今後、入国制限が解除された場合には速やかな対応が必要です。
- ・また、介護人材の質と量のバランスを踏まえた確保策の検討や既存人材のスキルアップのための研修等の充実も必要です。

11

1 第7期計画における取組の成果と今後の課題

VI 地域包括ケアの実現のために

【主な成果】

- ・医療・介護統合データベースを構築し、日常生活圏域の地域分析や共同研究事業を進めました。

【主な課題】

- ・介護施設での業務の効率化やより効果的な情報発信のためにICT等を活用する必要があります。
- ・歳を重ねて介護・医療が必要になっても、積極的に活動的に自分らしく暮らすこと（ポジティブ・エイジング）ができる社会の実現に向け、多様な主体と連携して広報・啓発に取り組む必要があります。

12

2 第8期計画の推進に向けて①

- ・ 2025年に向けた横浜型地域包括ケアシステムの構築を引き続き進めるとともに、団塊ジュニア世代が65歳以上の高齢者となり、高齢者数がピークを迎える2045年に向けて、効率的・効果的な高齢者施策を実施し、老後に対する「不安」を「安心」に変えていきます。
- ・ 日常生活に支援や手助けが必要になっても、個々の状況に応じた選択が可能となるように、必要な施設や住まいの場を整備します。
- ・ 増大する介護ニーズに対応し、質の高いサービスを安定的に提供するため、引き続き①新たな介護人材の確保、②介護人材の定着支援、③専門性の向上を3本の柱として総合的に取り組みます。



13

2 第8期計画の推進に向けて②

- ・ 地震、風水害、感染症など、地域や施設での生活環境へのリスクの高まりに対して、介護施設等向けに、防災や感染症対策に関する研修等を実施します。
- ・ 認知症の人が社会から孤立せず、継続的に社会とつながることができる取組を推進するとともに、認知症の人が地域の中で自分らしく暮らし続けられるよう、認知症に関する正しい知識の普及を進め、認知症への社会の理解を深めます。



14